

## 第7回 ササキスポーツ杯大会要項

日時	2011年2月5日(土) 予選リーグ 関係者 7:30 集合 2011年2月6日(日) 決勝トーナメント
会場	臨海球技場(予備日は未定)
主催	株式会社 ササキスポーツ
主管	江戸川区サッカー連盟少年部
目的	連盟加盟少年チーム(低学年)のサッカーを通じた健全な育成、チーム同士の交流、親睦を図ること。
参加チーム	江戸川区サッカー連盟少年部加盟チーム(2チームまで参加可能)。
参加資格	江戸川区サッカー連盟少年部加盟チーム。 参加選手は2年生以下とし、各チームが認める登録選手とする。
参加費	1チーム ¥500 とする
試合運営	江戸川区サッカー連盟少年部 運営委員会により行う。
規則	8人制。その他は(財)日本サッカー協会競技規則に準ずる。
大会方式	8人制。リーグ・トーナメント方式。 10分-3分-10分。順位は、①勝点、②得失点差、③総得点、④直接対戦の勝敗、⑤PK(5人)。 ※上記試合時間は、参加チーム数により変更する可能性がある。 選手登録は16名までとし、選手の交代は「自由な交代制」。 メンバー表は1部を当該試合の副審に提出し、もう1部を相手チームに。 最初の試合のみ開始15分前までにメンバーチェックを受ける。 ペンチスタッフは3名までとし、ハーフタイム時保護者のお手伝いは禁止。 試合球は4号球(空気圧0.5)を使用する。 ユニホームは異色を2着背番号付で用意する。
表彰	優勝、準優勝、三位、敢闘賞
その他	大会規定の詳細は別途定める。 グラウンドの整備及び備品等の準備撤収については、各グラウンドの午前の部のチームがグラウンドの準備(ライン引き等)を行い、午後の部のチームがグラウンド整備、備品等の撤収を本部、運営と共に行う。 応援は指定された応援エリアで行なうこととする。
連絡先	江戸川区サッカー連盟少年部 運営委員会 運営委員長 菅谷 芳秋

## 平成22年度ササキスポーツ杯大会規定

2011年1月18日  
江戸川区サッカー連盟少年部  
運営委員会

### 【大会規定】

1. 予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦を原則とする。
2. 試合時間は20分（前後半各10分）とする。ハーフタイムは3分。
3. 予選リーグの順位決定は、勝ち点、得失点差、総得点、対戦の勝者、PKの順で決めるものとする。なお、予選リーグの勝ち点は、勝ち：3、引き分け：1、負け：0とする。
4. トーナメントにおいて時間内で勝敗が決しない場合、PK方式（PKは5名）とし、決勝戦・3位決定戦のみ10分間の延長（前半5分、後半5分）を行う。  
延長戦で時間内に勝敗が決しない場合は、PK方式で決する（PKは5名）。  
尚、決勝、順位トーナメントともに3位決定戦を除く敗者戦は引き分けとする。
5. 試合出場選手の数は8名とし最低5名以上とする。なお、1チームあたりの最大登録人数はメンバーリストの上限である25名とする（2009年度秋季改定）。
6. 選手の交代は『自由な交代制』とする。  
交代カードは使用しない。
7. 試合ボールは4号球（0.5気圧）とし、両チームが持ち寄り、主審が決定する。
8. 試合出場メンバー表は1部を相手チームに、最初の試合の前のみもう1部を試合開始の15分前までに本部に提出し選手チェックを受ける。その後そのメンバー表を副審に提出する。  
副審はメンバー表に結果を記録し、チームに返却する。チームはその日の最後の試合が終了した時点でメンバー表を本部に提出する。  
尚、メンバーが25名以上いる場合は、入れ替えを行なう都度、メンバーチェックを受けること。
9. フィールドサイズは、連盟少年部低学年大会と同様、40m×30mを原則とする。
10. ゴールは2m×3m。FKの際は5m以上離れる。
11. 出場チームは試合開始5分前までに所定の場所（各コートの本ベンチ裏など）に集合すること。試合開始時間を過ぎて集合なき場合は放棄とみなし、当該試合を含め当該チームの試合は全てフレンドリーマッチとする。
12. 審判は、主審・副審の2名で行う。
13. 試合中退場処分（退場・警告2回）を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。  
また、警告は累積2回で次の試合1試合に出場できない。  
審判は、運営本部に警告の報告を必ず行なうこと。
14. 眼鏡は安全確保のため認めない。なお、スポーツゴーグルは可とする。
15. オフサイドルールは適用しない。バックパスは適用する。
16. キックオフからの直接の得点は認めない（2010年度東京都採用ルール）。
17. 参加選手は全員スポーツ傷害保険に加入していること。

## ■ササキスポーツ杯のユニフォームに関する規定

2ブロックの大会において既に正副のユニフォームが義務付けられているので、ビブスを着用しての試合参加は認めない。

選手固有の背番号に関しては、低学年の育成という観点から以下のように定める。

○プレーヤーの同一の背番号は認めない。

【例】9番の選手が2人いることは認めない

○ゴールキーパーの背番号は、選手固有の番号でなくても良い。

【例】前半は6番の子が1番の背番号をつけ、GKとして試合参加。後半、6番の子は本来の番号でフィールドに出場、前半9番でフィールドに出場していた子が、1番をつけてGKとして試合参加。このケースを認める（下図参照）。

### 前半



### 後半



ただし、警告・退場などの処分があった場合、該当チームのコーチは、選手を特定できるように速やかに選手名を審判に申告すること。

# ■ ササキスポーツ杯フィールドサイズ

